

弘前大学(文京町)サークル棟災害復旧工事

特記仕様書

令和7年度

弘前大学施設環境部				
次長	課長	課長補佐	係長	担当
		 	  	  

弘前大学(文京町)サークル棟災害復旧工事 特記仕様書

1 設計

・適用基準等

本工事の実施に当たっては、下記基準類の最新版を適用すること。

(1) 共通

- 1) 官庁施設の総合耐震計画基準(統一基準)

(2) 建築

- 1) 公共建築工事標準仕様書(統一基準)(建築工事編)
- 2) 公共建築改修工事標準仕様書(統一基準)(建築工事編)
- 3) 文部科学省建築工事標準仕様書(特記仕様書)
- 4) 文部科学省建築改修工事標準仕様書(特記仕様書)
- 5) 建築構造設計基準
- 6) 建築構造設計指針
- 7) 公共建築木造工事標準仕様書(統一基準)
- 8) 建築工事特記仕様書書式・同記載要領
- 9) 文部科学省建築構造設計指針

(3) 設備

- 1) 公共建築工事標準仕様書(統一基準)(電気設備工事編)
- 2) 文部科学省電気設備工事標準仕様書(特記仕様書)
- 3) 公共建築設備工事標準図(統一基準)(電気設備工事編)
- 4) 文部科学省電気設備工事設計資料
- 5) 建築設備耐震設計・施工指針(国土交通省住宅局建築指導課監修)
- 6) 公共建築工事標準仕様書(統一基準)(機械設備工事編)
- 7) 文部科学省機械設備工事標準仕様書(特記仕様書)
- 8) 公共建築設備工事標準図(統一基準)(機械設備工事編)
- 9) 文部科学省機械設備工事標準図(特記仕様書)
- 10) 文部科学省機械設備工事設計資料

(4) 保全

- 1) 建築保全業務共通仕様書(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)
- 2) 文教施設保全業務標準仕様書

2 建築工事

(1) 直接仮設工事

建築に係るやり方、墨出し、足場、養生、清掃後片付け一式とする。外部足場を設置する際は、周辺環境に配慮し適切な養生を行うこと。患者、一般通行人及び大学関係者等通行に対する安全対策は十分に行うこと。

(2) 土工事

基礎工事等に係る根切り、埋戻し、残土処分、砕石地業一式とする。残土は、構内に一時仮置き

し、解体後の埋戻し土として使用すること。また、碎石は再生碎石とする。

(3) コンクリート工事

躯体、基礎工事等に係るコンクリートの材料及び打設手間一式とする。

(4) 型枠工事

基礎工事等に用いるコンクリート設置に係る型枠一式とする。

(5) 鉄筋工事

基礎工事等に使用する材料、加工手間一式とする。使用材料は、径D10～16については、SD295A、D19以上についてはSD345とする。

(6) 鉄骨工事

建物本体等に使用する鉄骨等の材料、工場加工、建て方及び錆止め塗装一式とする。

鉄骨断面等は構造計算により安全を確かめるものとする。

(7) 防水・シーリング工事

アルミサッシ周囲等のシーリング一式とする。

(8) 木工事

(9) 金属工事

壁下地軽鉄、天井下地軽鉄、天井点検口及び開口補強一式とする。

(10) 建具工事

外部に面する建具と内部の建具及び附属金物一式とする。原則、外部面の窓に使用する建具はアルミ製とする。外部面の窓には網戸を設ける。

(11) ガラス工事

建具に使用するガラス、ガラス押え材及びガラスクリーニング一式とする。なお、原則、外部面の窓はフロートガラスとし延焼のおそれのある部分は網入りガラスとする。

(12) 塗装工事

塗装は、ホルマリン不検出のものとし、有機溶剤の含有の少ないものとする。

(13) 内装工事

防滑性を要する所は、適切なビニル床シートを選定する。

使用材料は原則としてF☆☆☆☆とし、有機溶剤の含有の少ないものとする。

(14) 仕上げ工事等

ピクトサイン一式とする。

(15) 外構工事

(16) とりこわし工事

(17) 接続部・解体部補修工事

(18) その他

・工事用地周囲には、仮囲い(出入口にはゲート)を設置する。また、仮囲いの周囲および構内の車両誘導には警備員を配置すること。

・完成図

名称	体裁等	部数
完成図 (建築・電気・機械共通)	<input checked="" type="radio"/> A3原図 <input checked="" type="radio"/> A3製本 <input checked="" type="radio"/> CADデータ	1部 2部 1部
施工図 (建築・電気・機械共通)	<input checked="" type="radio"/> A3製本 <input checked="" type="radio"/> A3朱書訂正図製本 <input checked="" type="radio"/> CADデータ	1部 1部 1部
※機器完成図	<input checked="" type="radio"/> A4版チューブファイル綴り	2部
※各種試験成績書	<input checked="" type="radio"/> A4版チューブファイル綴り	1部
※諸手続き書類(写)	<input checked="" type="radio"/> A4版チューブファイル綴り	1部
※保全指導書	<input checked="" type="radio"/> A4版チューブファイル綴り	2部
工事写真帳	<input checked="" type="radio"/> 電子媒体 <input checked="" type="radio"/> 紙媒体(ファイル綴じ)	1部
機器台帳	<input checked="" type="radio"/> 指定の書式に入力して提出	1部
負荷設備台帳	<input checked="" type="radio"/> 指定の書式に入力して提出	1部

提出方法: ※印は一緒に製本してもよい。

保全に関する資料は公共仕様書によるほか、下記に示す機器及びシステムを運用する職員に対して、その機能・操作の説明、保守点検の要領、障害時の対策及び災害(停電、自然災害)時の対応等の資料を作成し説明すること。

保全に関する資料

照明制御 集中検針設備 空調・換気設備

本工事は、次の書類について電子納入の対象とする。

- ☒ 完成図(JWW、DXF、PDF) ☒ 施工図(JWW、DXF、PDF)
- ☒ 工事写真(JPEG、PDF) ☒ 完成写真(JPEG、PDF)
- ☒ 上記以外の工事書類(PDF)

製本は、A3(白焼き)とする。なお、完成写真には撮影方向等を明示した配置図、平面図を添付する。

貸与する設計図のCADデータ著作者名: 国立大学法人弘前大学

ファイル形式: JWW、DXF形式

貸与条件: 貸与するCADデータを本工事における施工図又は完成図の作成のため以外に使用しないこと。

貸与条件: DVD-R 等

電子媒体の提出は、別紙1のとおりとする。なお、電子データの成果物に対する共通仕様書に基づく署名又は捺印は、別紙1の措置をもって代えることとする。

3 電気設備工事

電気設備について、サークル棟で機能するための照明器具、配線器具、配線、配管、ケーブル、スリーブ等はすべて本工事とする。既存施設との設備との連携をとるための工事は本工事とし、詳細は下記のとおりとする。

ケーブルはエコケーブルを使用する。

(1)照明設備～(4)幹線設備共通事項

・電気設備技術基準及び内線規程に従って施工する。

(1)照明設備

- ・設置する照明器具はLEDとする。室内はJIL5004:2024(2025年版)公共施設用照明器具とする。
- ・すべての部屋に照明器具を設置する。
- ・表1の設計照度以上となるように照明器具を設置する。
- ・スイッチは表1のとおり設置する。
- ・夜間に安全に通行できるように、照明器具(パナソニックNNFS21851C LE9相当品)を各建物出入りに設置する。
- ・消防法に基づき必要な誘導灯又は誘導標識を設置する。

表1

室名	設計照度	スイッチ	その他
倉庫1	JIS Z9110による	片切スイッチ	
倉庫2	JIS Z9110による	片切スイッチ	
倉庫3	JIS Z9110による	片切スイッチ	
廊下	JIS Z9110による	3路スイッチ	

(2)コンセント設備

- ・コンセントは2P15A×2接地極付を基本とする。
- ・コンセントの個数及び回路数は表2のとおりとする。表2のほか、本工事で取付する機器等に必要なコンセントを、機器の電気容量に合わせて設置する。
- ・建物の縦樋が屋外を露出する箇所は、凍結防止用電熱ヒーター(サーモ付き)を設置する。

表2

室名	コンセント個数	回路数	その他
倉庫1	6個以上	1回路	
倉庫2	3個以上	2室で1回路	
倉庫3	2個以上	3室及び4室で1回路	
廊下	—	—	

(3) 幹線設備

- ・分電盤を入口付近廊下に設置する。
- ・分電盤は蓋つきホーム分電盤とする。主幹はMCCB3P50AF30AT、分岐はELCBとする。
- ・幹線は別図2-1のとおりとする。

(4) 消防用設備

- ・消防法に基づき、必要な場合は非常警報設備を設置する。
- ・非常警報設備は、ボイラー室既存GR型火災報知受信機(能美防災(株)製)及び守衛室既存GR型火災報知受信機(能美防災(株)製)に、表示するよう改修を行う。
- ・非常警報設備の信号線の配線ルートは別図2-1のとおりとし、必要な配線を敷設する。

(5) その他

- ・屋外に露出する電線管はGZ(溶融亜鉛めっき仕上げ付着量300g/m²以上)とする。また、地面からの立ち上がり部分1mを防食テープで保護すること。
- ・埋設する電線管はF・FEP(難燃エフレックス)とする。
- ・埋設管路と建物引込管路との接合部分にハンドホールを設置する。その他、適切な箇所にハンドホールを設置する。
- ・屋外に設置するプルボックスは鋼板製(溶融亜鉛めっき350g/m²仕上げ防水)とする。

4 機械設備工事

(1) 換気設備

- ・全熱交換器(壁用)を設置する。

(2) 暖房設備

- ・ガスFF暖房機(液化石油ガス)を設置する。
- ※倉庫2及び倉庫3は支給品取付、倉庫1は新設とする。

(3) 給水設備

- ・既存の口径20A。
- ・管種は、屋外は水道用ポリエチレン管:二層管(PP)、屋内は水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管(PB)とする。(本学が指定した管種により難しい場合は、監督職員と協議による)
- ・凍結の恐れがある配管については、凍結防止ヒーターを設置する。

(4) 排水設備

- ・敷地内にある最寄りの既存汚水桝に接続する。
- ・排水設備の工事は、弘前市上下水道部の指導に基づいた設計を行うこと。
- ・管種は硬質塩化ビニル管、硬質塩化ビニル桝(車道部分は铸铁防護蓋)とする。
(本学が指定した管種により難しい場合は、監督職員と協議による)

(5) 衛生器具設備

- ・手洗いはホーム水栓とする。

(5) 液化石油ガス設備

- ・管種は、配管用炭素鋼鋼管(白)とする。
- ・倉庫1～倉庫3に子メーターを設置する。

別紙 1 電子媒体の提出について

電子媒体の提出は以下の通りとする。

- 1) CD-Rのラベルに直接署名又は捺印を行う。
- 2) 受注者は、電子媒体の内容の原本性を証明するために、下に定める様式（電子媒体納品書）に署名又は捺印の上、電子媒体と共に提出する。

業務番号: ○○○○○○○○○○ 1/3
 ○○○○○○○○○○○○ 設計業務

平成○年○月

主任監督職員

監督職員

管理技術者

発注者: ○○○○○○○○
 受注者: ○○○○○○○○株式会社

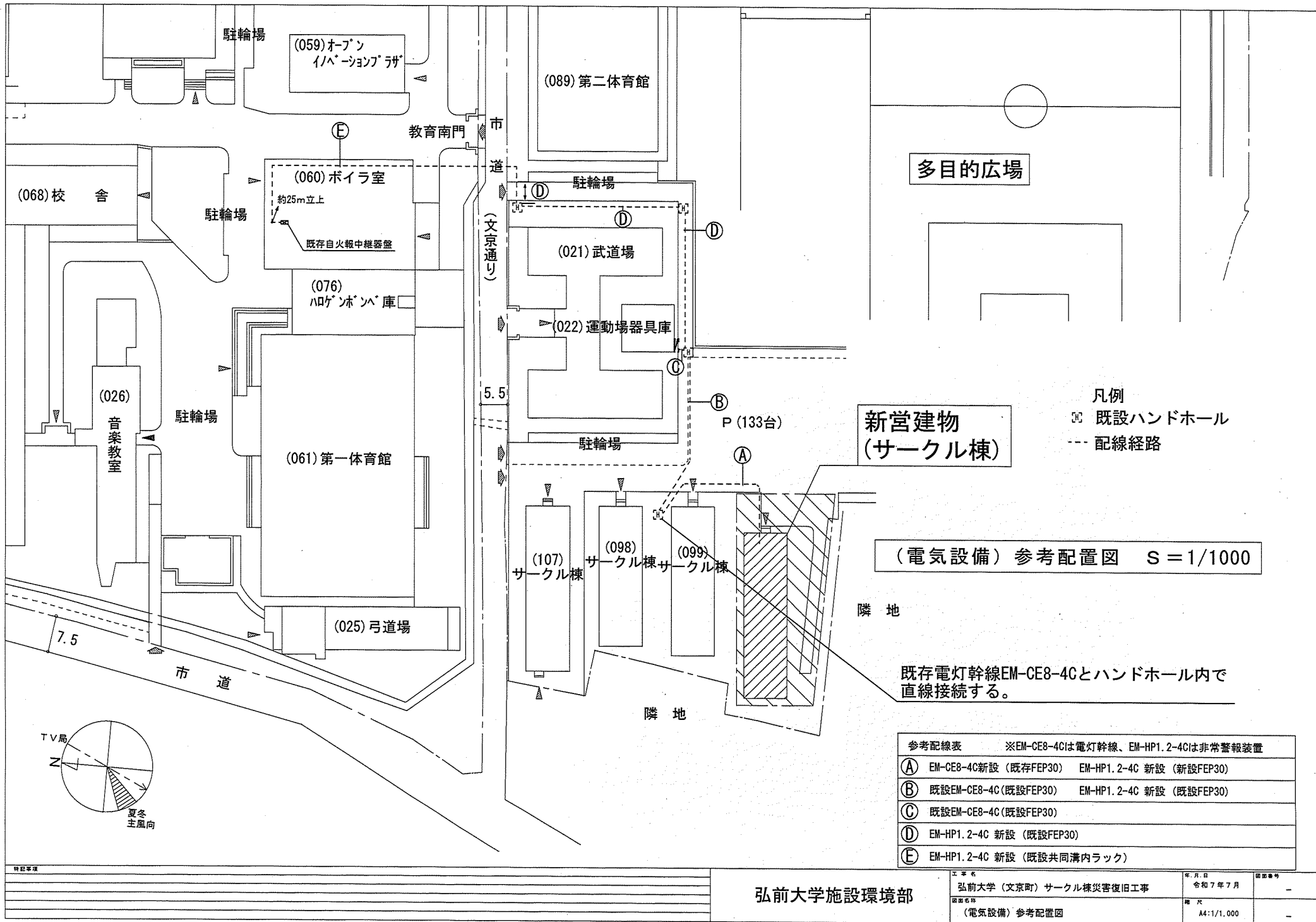
ウイルスチェックに関する情報
 ウイルス対策ソフト名: ○○○○
 チェック年月日: ○○○○年○月○日
 CD-Rフォーマット形式: JOLIET

CD-R のラベル記載例

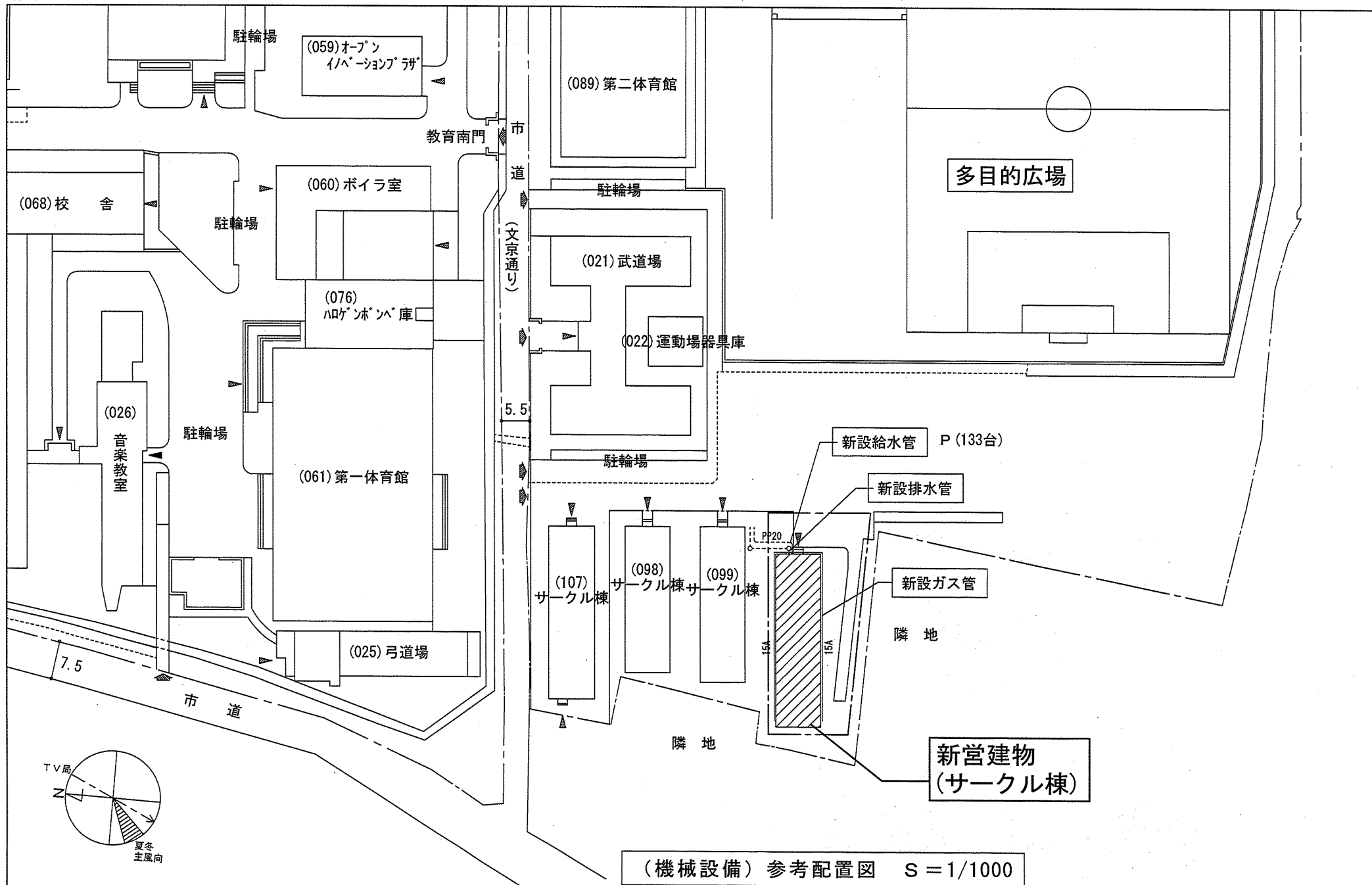
電子媒体納品書					
主任監督職員 殿					
受注者 (住所) (氏名)					
(管理技術者 氏名) 印					
下記のとおり電子媒体を納品します。					
記					
工事名				工事番号	
電子媒体の種類	規格	単位	数量	納品年月	備考
備考					

電子媒体納品書の書式例

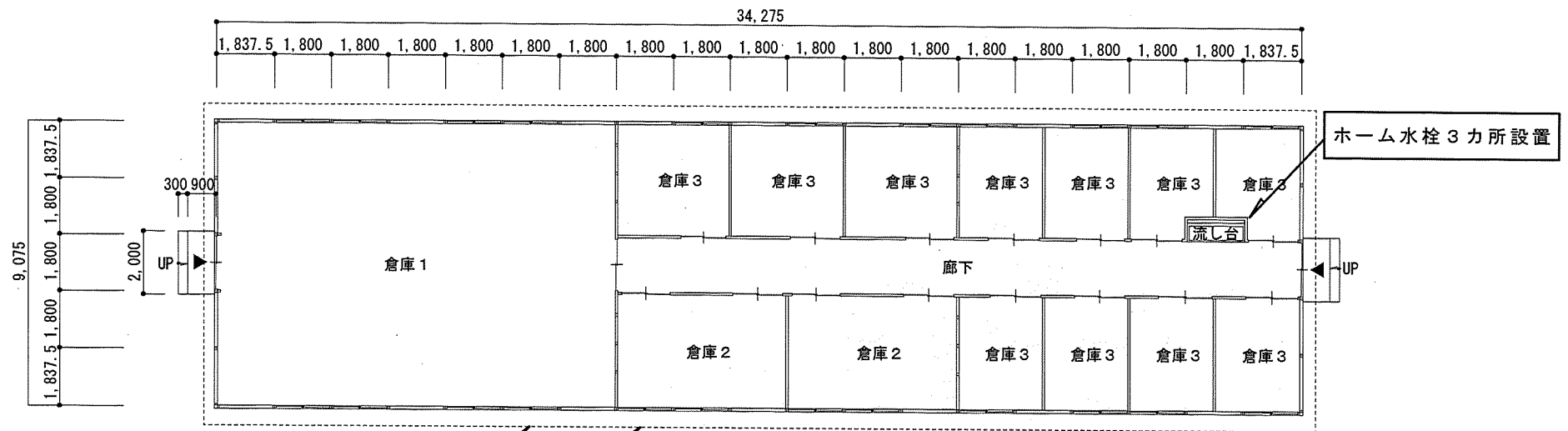
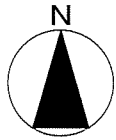
別図1-1



別図2-1



特記事項	弘前大学施設環境部	工事名 弘前大学（文京町）サークル棟災害復旧工事	年、月、日 令和7年7月	図面番号 —
		図面名称 (機械設備) 参考配置図	縮尺 A4:1/1,000	—



倉庫1～3は居室として使用する

倉庫1～3はガスFF暖房機を設置する

(機械設備) 参考平面図

凡例

▼：外部からの出入口を示す。

ガスFF暖房機設置
※倉庫2及び倉庫3は支給品取付、倉庫1は新設とする。

特記事項

弘前大学施設環境部

工事名	弘前大学（文京町）サークル棟災害復旧工事	年・月・日	令和7年7月	図面番号	-
図面名称	(機械設備) 参考平面図	縮尺	A4:1/200		-